



株価

1,801
円

2021.8.31
終値

優待品
換算金額

3,000
円

通期

1株当たり
配当金

50.0
円

2022.3 (予)

配当
利回り

2.8
%

2022.3 (予)

割当
基準日

3月末日

市場

東1

NET-IR



株主優待

割当基準日3月末日

- ① 自社製品
- ② 公式オンラインショップクーポン*
- ③ 寄付

保有株式数に応じて①～③から選択

200株以上 600株未満	3,000円相当の①
600株以上 1,000株未満	3,000円相当の①+2,000円分の② 5,000円相当の① 5,000円の③
1,000株以上	3,000円相当の①+5,000円分の② 3,000円相当の①+5,000円相当の① 8,000円の③

*公式オンラインショップで利用可能なクーポン1枚、送料無料クーポン1枚をお届けします

自社製品例



(3,000円相当)



(5,000円相当)

※優待品の内容・パッケージ等が変更になる場合があります

公式オンラインショップはこちら
<https://shop.j-oil.com/>



2024年までは将来の成長実現のための変革期 抜本的な変革を実現し持続的に成長する企業へ

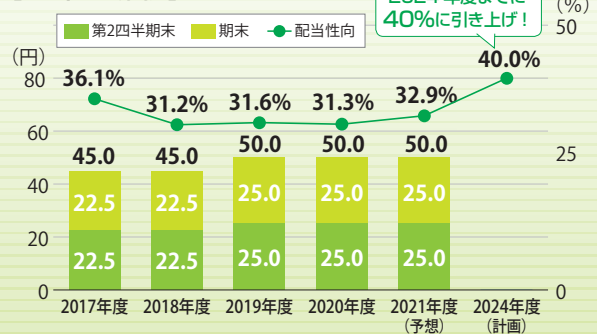
当社グループは、2030年の目指すべき姿を定め、その実現に向け持続的に成長するため、2024年度を最終年度とする第六期中期経営計画「Transforming for Growth」を策定しました。今中計では、2024年度までの期間を将来の成長実現のための変革期～Transformation～としています。原料コストの急激な上昇など「急激に変化する外部環境」を適切に捉え、次の時代を見据えた抜本的な変革を実現し、持続的に成長する企業へTransform（変革）していきます。

当社グループの強みは、顧客接点、技術力、素材、そしてそれを届け、お客さまとともに課題解決を実現する、ソリューション力です。今中計では、その強みを一層磨き、マーケティング、研究開発、生産、営業を強化・融合することで、「おいしさデザイン®」企業としてお客さまへの提供価値を最大化していきます。

2024年度までに連結配当性向を 30%から40%まで引き上げ

第六期中期経営計画の配当方針としては、収益拡大を通じて創出するキャッシュ・フローを、M&Aを含む成長投資に充当するとともに、2024年度までに連結配当性向を従来の30%から40%まで引き上げ、株主の皆さまへの還元を安定的・継続的に強化していきます。

【配当金の推移】



※2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割したため、当該株式分割に伴う影響を加味し、2020年度以前の配当金を遡及修正

投資家の皆さまへ



代表取締役社長
執行役員
はちうま ふみなお
八馬 史尚

新型コロナウイルスの感染拡大、世界的な食糧需要の増加、気候変動など、当社グループを巡る環境は目まぐるしく変化していますが、当社グループは食品会社として、品質の高い製品を安心・安全かつ安定的にお客さまにお届けするため、経営のリソースを有効かつ最大に活用し、すべてのバリューチェーンにおいて価値を創造していきます。また社会の公器として、気候変動に対する取り組みや人材の多様化を推進し、サステナビリティを追求します。リスク対応力を強化し、継続的に社会に貢献していく方針です。これにより、ステークホルダーの皆さまからのご期待に応えていく所存です。

会社プロフィール

2004年7月、ホーネンコーポレーション、味の素製油、吉原製油が統合し、現在のJ-オイルミルズが誕生。2007年7月、ユニリーバ・ジャパンより「ラーマ」ブランドを含む家庭用マーガリン事業を譲受。2012年には静岡工場に粉末油脂の生産工場を新設し、液体・固体・粉体の3つの油脂事業の相乗効果につなげる。また2017年、約50年ぶりの建設となる大豆搾油の倉敷工場が竣工し、搾油オペレーションの効率化に努める。2019年には、これまでタイで行ってきた海外事業にマレーシアでの新規の取り組みを加え、さらなる発展を目指す。また2020年に日清オイリオグループ(株)との搾油事業に関する業務提携を実施。構造改革も着実に進展している。



DATA (2021年3月末日現在)

- 設立:2002年4月
- 資本金:10,000百万円
- 市場:東1
- 決算月:3月
- 発行済株式数:33,508千株
- 従業員数:1,354人

2613 J-オイルミルズ

お問い合わせ先

〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー
 (株)J-オイルミルズ コーポレートコミュニケーション部 広報・IRグループ
 TEL.03-5148-7101 <https://www.j-oil.com/>

新コミュニケーションブランド「JOYL」導入

当社グループでは2021年4月1日、新たな企業理念体系を制定するとともに、コミュニケーションブランド「JOYL (ジェイオイル)」を導入しました。企業理念「Joy for Life[®]—食で未来によるこびを—」には、植物から生まれる「あぶら」「でんぷん」「たんぱく」の3つの要素を活かして、おいしさや人々の健康、社会や環境の負荷抑制に貢献し、未来のよろこびを増やしたい、という思いが込められています。J-オイルミルズという会社名は変わりませんが、今後は「JOYL」に価値を蓄積し、さらなる企業価値向上を目指していきます。



商品にも新ブランドロゴを採用

新ブランドの知名度や競争力を高めることを目指し、新ブランドロゴを配した商品を順次展開していきます。



植物性の原材料を使用した「乳系PBF*」市場へ参入



家庭用商品：左からプラントベースチーズ（スライス チェダータイプ、スライス モッツアレラタイプ、シュレッド チェダータイプ、クリーミー）、プラントベースバター（“ピオバター”）

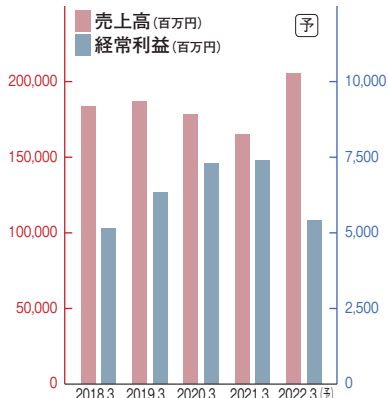
*乳系PBF：バターやチーズなどの乳製品を植物性の原材料で代替した製品のこと

2021年5月、プラントベースチーズのリーディングブランド「Violife (ピオライフ)」の日本国内における独占輸入・販売に関する契約を締結。同年9月から、関東地方1都6県にて家庭用のプラントベースチーズ（植物性チーズ代替品）とプラントベースバター（植物性バター代替品）の販売を開始しました。プラントベースフード (PBF) 市場は、環境への配慮や健康志向の高まりにより、日本でも成長が期待されています。当社もPBF事業を今中計の成長の柱の1つとして、取り組みを推進していきます。

株式分割・株主優待品の変更

当社では、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって分割しました。また、株主優待の内容をより魅力あるものにするため、2021年3月31日現在の株主さまへの贈呈分から、当社株式の保有数に応じて優待品を選べる制度に変更しました。引き続き、これまで以上に株主の皆さまから選ばれる企業になるよう、企業価値向上に取り組んでいきます。

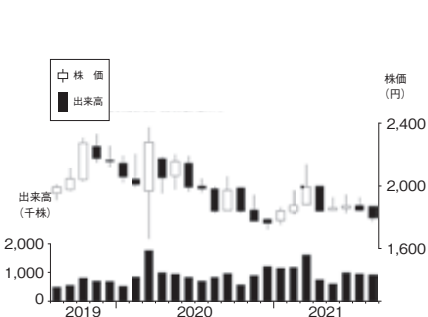
業績 (連結)



決算期	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3(予)
売上高 (百万円)	183,361	186,778	178,196	164,816	205,000
経常利益 (百万円)	5,137	6,326	7,302	7,374	5,400
1株当たり利益 (円)	124.7	144.2	158.1	159.6	151.9
1株当たり配当金 (円)	45.0	45.0	50.0	50.0	50.0

(分) 2021年4月1日、1:2
 ※1株当たり利益と1株当たり配当金は、2021年4月1日の株式分割が2018年3月期の期首に行われたと仮定し算定
 ※2022年3月期の予想値は、2021年8月4日の公表値

株価チャート (月足)



※最新の株価については www.net-ir.jp/ でご確認ください。

株価チャートは、QUICKデータ (2021年8月31日時点) を基に作成しています。財務データは基本的に連結 (配当金のみ個別) の実績直近4期分を記載しており、予想1期分の数値記載については、各掲載企業の任意となっています。また、1株当たり配当金の「特」は特別配当込み、「記」は記念配当込みであることを指します。業績についての掲載内容は各企業から情報提供を受けて制作したのですが、最新の情報についてはご自身でご確認をお願いいたします。

(広告特集)

- 1000~
- 2000~
- 3000~
- 4000~
- 5000~
- 6000~
- 7000~
- 8000~
- 9000~